

## 障害者実態調査質的調査（インタビュー調査）について

平成 28 年度障害者実態調査の実施に当たって、保護者等が当事者の意向を踏まえて記入することが多い知的障害者について、より当事者の意向を把握するため、質的調査（インタビュー調査）実施する。

### 1 実施方法

東洋大学福祉社会研究開発センターに本調査を委託し実施する（実際のインタビュー及び調査結果の取りまとめについては、同大学社会学部社会福祉学科 高山教授及び志村教授の指導のもと同ゼミナールの学生が行う。）。

### 2 調査対象

区内施設を利用する 18 歳以上の愛の手帳所持者 50~60 人程度

### 3 対象施設（施設利用者の内、文京区に住民登録がある方を対象とする。）

- (1) 大塚福祉作業所（就労移行支援・就労継続支援 B 型）
- (2) 小石川福祉作業所（就労移行支援・就労継続支援 B 型）
- (3) 本郷福祉センター（若駒の里）（生活介護）
- (4) は〜と・ピア（生活介護）
- (5) こばん（生活介護）
- (6) だんござかハウス（生活介護）
- (7) ワークショップやまどり（生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援 B 型）
- (8) 工房わかぎり（就労継続支援 B 型）
- (9) エルムンド小石川（知的障害者グループホーム・ケアホーム）
- (10) ドリームハウスⅢ・Ⅳ（知的障害者グループホーム・ケアホーム）

### 4 調査方法

面接法（グループインタビュー）、参与観察

### 5 調査内容

- (1) 施設内において楽しみにしていることはなにか。
- (2) 余暇（施設外）はどのように過ごしているか。
- (3) 困っている（悩んでいる）ことはなにか。
- (4) 相談相手はだれか。
- (5) 今後の希望（夢）はなにか。

### 6 調査基準日

平成 28 年 10 月 1 日を基準日として実施する。